

令和5年度 下和泉地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<下和泉地区> 【地域特性】バス通りの歩道の少なさや交通の便が悪く、外出しにくい状況が増している。 【方向性】移動に関する支援を進めていく。 <富士見が丘地区> 【地域特性】約50年前に造成されたエリアの住民が一斉に高齢化する見込みで、個別相談が増加している。 【方向性】普段の暮らしを支える支援を進めていく。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わない、地域ケアプラザの相談機能の周知を進めます。 ・子どもの居場所支援、民児協や地区社協定例会にて相談事例を情報共有、施設と地域のつながりづくり
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住民主体の課題解決に向けた働きかけを行い、目指す地域像を共有します。 ・移動販売や外出支援の協議体を開催し、地域住民とともに検討。様々な相談内容について情報をエピソード化しイメージを共有など
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症の正しい理解を広め、認知症の人とその家族が安心して過ごせる地域づくりや、認知症の早期発見・対応ができる体制づくりを行います。 ・認知症サポーター養成講座の開催、認知症カフェ「ぼかぼかサロン」の開催、地区会合での相談分析報告など
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域特性や地域課題を踏まえた自主事業を実施し、課題解決に取り組みます。 ・子ども支援の場について様々な媒体で周知を広め、気軽に集える場を拡充。多世代交流や担い手発掘の検討など
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日常業務を通じた人材育成や職員の連携体制の構築を進め、風通しのよい職場風土を醸成し、個別課題と地域課題の解決を図ります。 ・目標管理による人事考課の実施、新人育成リーダー制度の活用、全体会議や部門連携会議の実施など
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
①子どもの居場所を毎週開催することで、気軽に相談できる場が整い、高齢者については各定例会にて相談傾向等を随時発信し、情報共有ができています。また、施設と地域を行事や講座等を通して仲介し、つながりづくりが進んでいる。 ②移動販売は新たな商店の導入を調整し、買い物のみならず集いの場としての機能も持ち始めている。また、住民と検討を重ね、新たな集いの場を立ち上げることができた。 ③認知症サポーター養成講座や地区社協と連携した講座を開催し、住民の理解・啓発を進め、認知症カフェでは事業所・ボランティア団体と連携し、活発な運営ができています。 ④子どもの居場所での行事を通じた親同士の交流が生まれ、また、プラザ祭り等で学生がボランティアとして関り、多世代交流の場も広がりを見せている。 ⑤新たな職員体制であるが、会議や育成制度等を活用し、互いに助け合う風土が生まれ、個別や地域の課題に対し、チームで取り組むことができ始めている。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進められました。特に、移動販売では、新規事業所の参加や他地区との意見交換会を開催する等、移動販売の充実にむけて積極的に取り組んでいます。 ・認知症支援事業では、認知症サポーター養成講座に加え、キャラバン・メイト連絡会の定期開催による関係者との情報共有や地区社協と連携した講座の開催など、認知症の正しい理解に向けた取組を進められました。今後は、幅広い世代へ認知症の普及啓発を行うなど、地域全体での認知症に優しい街づくりを期待しています。 ・地域活動の支援については、新配属職員が多かった中で、強みであるチーム力を活かし、学習支援や居場所づくりなど地域のニーズに応じながら、子どもの支援に積極的に取り組んでいます。また施設と地域をつなぐ役割も担いながら、「支え合い、助け合い」のネットワークの拡がりに寄与しています。		

令和5年度下和泉地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<p>相談業務をはじめ、施設全体の業務運営にあたっては、一人ひとりの職員の言動が、利用者やそのご家族、事業者からの不信を招くことがないよう、公正・中立性を確保したうえで対応します。</p> <p>地域包括支援センターにケアマネジャーの選定に係る相談が寄せられた場合は、事業者一覧表等を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設け、相談者の意思を尊重し、最終的に相談者が選定の判断をするようにご案内します。</p>	<p>1 事故防止に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故事例の共有と防止策の検討 ・事故対応マニュアルの作成と周知 <p>2 個人情報保護の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に関する研修の実施 ・日ごとの個人情報取扱い作業の確認 <p>3 人権啓発の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発研修への参加 ・標語作成等、施設内における人権啓発
実績	<p>・総合相談や地域での会議やサロン等へ参加し、ニーズの収集に注力し、住民に必要とされる事業が展開できるよう努めました。また、サービスの質向上や改善を目的に、地域住民や利用者からの意見を集約するための利用者アンケートを実施し、結果を受け、「改善宣言」も策定しました。</p> <p>・地域包括支援センターは、介護サービス事業者等に対して公正中立な立場であるため、日常的な注意喚起や職員相互の確認等を実施し、さらに職員間の情報共有を密にして常に最新情報を収集しました。その結果、利用者・家族に事業者等を紹介する際は、偏りを生じさせない体制が維持できています。</p>	<p>1 定期的な会議の機会を活かし、施設内で発生したヒヤリハットや事故、また、法人内における事故等の共有や注意喚起や日常点検、手順の見直しを行い、事故防止に努めました。</p> <p>2 個人情報が含まれる資料は、施錠管理を徹底するとともに、原則外部持ち出しを禁止し、必要な場合は書類持ち出し管理簿で確実に管理して、適切に取り扱いました。また、印刷は認証プリントを導入し、書類混入の防止を徹底しました。</p> <p>3 法人実施の人権研修などへ積極的に参加し、さらに伝達研修を通して職員全体の意識向上に取り組みました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者が日常生活の活動範囲を拡げ、家庭内のみならず、地域活動や社会参加を通じて、生きがいを持って生活が送れるように、公的なサービス以外の社会資源も活用しながら支援します。	利用者一人ひとりの状況やご意向を踏まえ、適正・的確なケアプラン作成を目指します。 ご本人の支援と併せ、地域包括支援センター・通所介護等との連携を更に深め、ご家族の支援を含めた「包括的支援」体制づくりを進めます。
利用料金	<p>利用者の負担金はありません。 介護保険料滞納等の場合、介護報酬10割負担のため以下の利用料金になります。</p> <p><基本額> 要支援1・要支援2:4,870円</p> <p><加算額> 予防支援初回加算:3,336円(初回月のみ) 委託連携加算:3,336円(委託開始月のみ)</p>	<p>利用者の負担金はありません。 担当者が、サービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。</p> <p>介護保険料滞納等の場合、介護報酬10割負担のため以下の利用料金になります。</p> <p><基本額> ・要介護1・要介護2:11,965円 ・要介護3・要介護4・要介護5:15,545円</p> <p><加算額> ・居宅支援初回加算:3,336円(初回月のみ) ・特定事業所加算Ⅲ:3,336円 ・特定事業所加算(A):1,112円 ・入院時情報連携加算Ⅰ加算:2,224円 ・入院時情報連携加算Ⅱ加算:1,112円 ・退院・退所加算(カンファレンス参加無):5,004円(連携1回)、6,672円(連携2回) ・退院・退所加算(カンファレンス参加有):6,672円(連携1回)、8,340円(連携2回)、10,008円(連携3回) ・退院時情報連携加算:556円 ・緊急時等カンファレンス加算:2,224円 ・ターミナルマネジメント加算:4,448円</p>
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	看護師:1名(常勤兼務管理者)、社会福祉士:3名(常勤兼務2名・非常勤専従1名)、介護支援専門員:1名(非常勤専従)、社会福祉主事(非常勤専従):1名	介護支援専門員:4名(常勤兼務管理者:1名、非常勤専従:3名)
契約者数	209	102

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者一人ひとりのニーズをふまえ、各種プログラムや機能訓練を実施します。また、ケアマネジャー等と連携して、利用者支援に加え、家族支援・支援者支援にも視点をおき、安心・安全にご利用いただけるサービスを提供します。		
実施体制	【実施日数】 週6日(月曜日から土曜日) ※年末年始(12月29日から1月3日まで)は休業 【提供時間】 午前10時15分から午後3時20分まで 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	①1割負担分 <基本額> ・要介護1:608円 ・要介護2:719円 ・要介護3:829円 ・要介護4:939円 ・要介護5:1,050円 <加算額> ・入浴加算Ⅰ:43円 ・口腔機能向上加算Ⅰ:161円 ・体制強化加算Ⅱ:20円 ・介護職員処遇改善Ⅰ:所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算します。 ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ:所定単位数に1,000分の12を乗じた単位数を加算します。 ②食費負担:800円 ③通常のレクリエーション以外に行う特別な行事:実費	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者:1名(常勤)、生活相談員:6名(常勤2名・非常勤4名)、看護師:5名(非常勤・兼務)、介護職員:12名(非常勤)、機能訓練指導員5名(非常勤・兼務)、運転員:6名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8,926 【契約者数】 105	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「下和泉地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,187,652	31,005	18,218,657	18,218,657	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	10,200	△ 10,200	
雑入	0	0	0	110,099	△ 110,099	
印刷代			0	24,100	△ 24,100	
自動販売機手数料			0	51,699	△ 51,699	
その他			0	34,300	△ 34,300	
その他	5,023,362		5,023,362	0	5,023,362	
収入合計	23,211,014	31,005	23,242,019	18,338,956	4,903,063	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,893,164	0	12,893,164	10,590,402	2,302,762	
本俸	9,994,000		9,994,000	9,419,292	574,708	
社会保険料	974,000		974,000	616,502	357,498	
手当計	1,410,164		1,410,164	455,768	954,396	
健康診断費	10,000		10,000	646	9,354	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	
退職給付引当金繰入額	498,000		498,000	90,825	407,175	
その他			0	619	△ 619	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	1,751,512	△ 393,512	
旅費	50,000		50,000	43,570	6,430	
消耗品費	415,000		415,000	609,347	△ 194,347	
会議随費			0	6,000	△ 6,000	
印刷製本費	5,000		5,000	464	4,536	
通信費	150,000		150,000	190,840	△ 40,840	
使用料及び賃借料	0	0	0	62,633	△ 62,633	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	41,513	△ 41,513	
備品購入費	20,000		20,000	0	20,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	12,103	7,897	
職員等研修費			0	8,000	△ 8,000	
振込手数料			0	25,785	△ 25,785	
リース料	4,000		4,000	57,000	△ 53,000	
手数料			0	5,370	△ 5,370	
地域協力費	60,000		60,000	32,000	28,000	
その他	634,000		634,000	698,400	△ 64,400	
事業費	2,098,850	0	2,098,850	140,730	1,958,120	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	140,730	123,270	
その他	1,792,850		1,792,850	0	1,792,850	
管理費	6,387,000	0	6,387,000	5,466,053	920,947	
光熱水費	4,567,000		4,567,000	3,516,821	1,050,179	
清掃費	900,000		900,000	1,249,976	△ 349,976	
機械警備費	80,000		80,000	85,144	△ 5,144	
設備保全費	460,000	0	460,000	519,508	△ 59,508	
空調衛生設備保守	70,000		70,000	65,775	4,225	
消防設備保守	30,000		30,000	88,516	△ 58,516	
電気設備保守	280,000		280,000	336,018	△ 56,018	
害虫駆除清掃保守			0	29,199	△ 29,199	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	80,000		80,000	0	80,000	
共益費			0	0	0	
その他	380,000		380,000	94,604	285,396	
修繕費	474,000		474,000	509,453	△ 35,453	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	23,211,014	0	23,211,014	18,458,150	4,752,864	
差引	0	31,005	31,005	△ 119,194	150,199	

自主事業費 収入	0	0	0	10,200	△ 10,200	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	140,730	123,270	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 130,530	△ 133,470	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	51,699	△ 51,699	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	30,579	△ 30,579	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「下和泉地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,270,503		30,270,503	30,270,503	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,874,246		5,874,246	5,874,246	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			7,380,735	0	7,380,735	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	7,380,735		7,380,735	0	7,380,735	
収入合計	43,679,484	0	43,679,484	36,298,749	7,380,735	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,317,734	0	38,317,734	30,133,145	8,184,589	
本俸	19,599,271		19,599,271	23,749,741	△ 4,150,470	
社会保険料	5,022,152		5,022,152	3,120,639	1,901,513	
手当計	10,842,698		10,842,698	2,472,302	8,370,396	
健康診断費	34,000		34,000	22,782	11,218	
勤労者福祉共済掛金	32,000		32,000	32,250	△ 250	
退職給付引当金繰入額	1,941,899		1,941,899	732,475	1,209,424	
その他	845,714		845,714	2,956	842,758	
事務費	2,245,750	0	2,245,750	773,874	1,471,876	
旅費	120,000		120,000	50,834	69,166	
消耗品費	484,000		484,000	120,251	363,749	
会議ठी費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	350,000		350,000	205,500	144,500	
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	28,479	121,521	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	150,000		150,000	28,479	121,521	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	3,217	6,783	
職員等研修費	50,000		50,000	0	50,000	
振込手数料			0	6,825	△ 6,825	
リース料	200,000		200,000	14,000	186,000	
手数料			0	1,164	△ 1,164	
地域協力費			0	0	0	
その他	881,750		881,750	343,604	538,146	
事業費	1,293,000	0	1,293,000	668,267	624,733	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	200,000		200,000	6,100	193,900	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,402	598	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	4,765	304,235	
その他			0	0	0	
管理費	1,697,000	0	1,697,000	1,452,992	244,008	
光熱水費	1,220,000		1,220,000	934,850	285,150	
清掃費	240,000		240,000	332,270	△ 92,270	
機械警備費	22,000		22,000	22,632	△ 632	
設備保全費	215,000	0	215,000	138,093	76,907	
空調衛生設備保守	20,000		20,000	17,484	2,516	
消防設備保守	7,000		7,000	23,529	△ 16,529	
電気設備保守	80,000		80,000	89,319	△ 9,319	
害虫駆除清掃保守			0	7,761	△ 7,761	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	108,000		108,000	0	108,000	
共益費			0	0	0	
その他			0	25,147	△ 25,147	
修繕費	126,000		126,000	135,419	△ 9,419	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	43,679,484	0	43,679,484	33,163,697	10,515,787	
差引	0	0	0	3,135,052	△ 3,135,052	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	563,000	0	563,000	164,267	398,733	
自主事業 収支	△ 563,000	0	△ 563,000	△ 164,267	△ 398,733	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 下和泉地域ケアプラザ

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9,961	11,753	-1,792	19,090	15,597	3,493	78,379	77,404	975
	その他	0	0	0	0	0	0	72	109	-37
	事業・負担金収入			0			0	27	18	9
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0	45	91	-46
	収入合計(A)	9,961	11,753	-1,792	19,090	15,597	3,493	78,451	77,513	938
支出	人件費	4,047	3,848	199	13,015	11,846	1,169	47,780	53,429	-5,649
	事務費	100	9	91	57	33	24	732	792	-60
	事業費	8	5,762	-5,754	583	472	111	25,535	26,269	-734
	管理費	0	0	0	140	76	64	1,768	2,683	-915
	その他	4,942	5,723	-781	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,942	5,723	-781			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
支出合計(B)	9,097	15,342	-6,245	13,795	12,427	1,368	75,815	83,173	-7,358	
収支 (A)-(B)	864	-3,589	4,453	5,295	3,170	2,125	2,636	-5,660	8,296	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	みなみ友遊サロン	平成18年	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	高齢者が楽しく集える場を提供し、体操、交流を通して介護予防を図る。	1:高齢者		小物作り、健康講座、歌、体操を中心に集う場づくり ・毎月第3月曜 ・会場 みなみコミュニティー	7	59
2	庭の手入れの会	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	下和泉地区の高齢者や一人暮らし、困りごとを抱えた世帯の庭の手入れを行うことで、地域貢献をしながらボランティア活動をする。男性の孤立防止を図る。	1:高齢者		庭木の剪定、草取りなどを行う 毎月 第4木曜日に定例会を実施、依頼状況や作業の確認、メンバーの交流を図る	24	166
3	ガーデン	平成19年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中庭の草花を手入れすることで、中庭の保全と来館者に癒しの空間を提供することを目的とする。	5:地域		毎日の水やりや草花の管理を行いながら、メンバーの親睦を図る。 月2回定例会第2・4水曜日実施 会場 下和泉地域ケアプラザ	49	163
4	しもづく広場	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子ども達が、気軽に誰でも参加でき地域の方と交流できることを目的とする	4:子ども・青少年		毎週土曜日 夏の時期は学校裏の畑で農業体験	50	335
5	夏休み子ども講座		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子参加のイベントを通して、広くケアプラザを周知する。	4:子ども・青少年		夏休み期間 会場 下和泉地域ケアプラザ	2	30
6	パン工房つくし		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方への障害施設案内と活動紹介。	2:障害児・者		障害施設のパン販売 会場 下和泉地域ケアプラザ 毎週木曜日	41	674

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	共働舎		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方への障害施設案内と活動紹介。	2:障害児・者		障害施設のパン販売 会場 下和泉地域ケアプラザ 第1・3水曜日	27	527
8	ぶどうの樹		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方への障害施設案内と活動紹介。	2:障害児・者		障害施設のパン販売 会場 下和泉地域ケアプラザ 不定期	8	124
9	利用者懇談会		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館利用団体の情報交換と交流を図る。	5:地域		・利用説明会と情報交換 ・2回実施(7月・12月)	2	184
10	しもづく劇団	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	身近に起こっている困りごとなどを、劇表現で住民自ら地域に発信し、支え合える地域について「自分事」として考えられるように啓発する。現メンバーへの健康教育や新規メンバー募集のために、介護予防普及啓発事業を実施する。	5:地域		・検討、練習 5月～8月 ・対象を広げ、発声(口腔)、体づくり(栄養・運動)に関する講座を実施する ・発表 9月～ 認知症サポーター養成講座等にて	12	96
11	権利擁護講座(成年後見制度)	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症高齢者や身寄りのない方の増加に備え、成年後見制度の普及啓発講座を実施する。	1:高齢者		・7月頃 ・司法書士を講師に成年後見制度に関する講話。	0	0
12	生前整理とエンディングノート啓発講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エンディングノートを通して人生最期の時に考え、今をどう生きるか考えていただくことを目的に講座を開催する。	1:高齢者		・9～11月頃 ・講師によるエンディングノートの講話 ・在宅医療相談室の協力のもと、モンパナカードを用いたワーク	1	13

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	消費者被害防止ミニ講座	平成31年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	消費者被害のターゲットになりやすい地域の高齢者に向けて、被害防止を目的とした短時間の講座を開催する。	1:高齢者		地域のサロン等に出向き、10～15分程度の消費者被害をテーマにしたミニ講座を開催する。最新の詐欺の手口や対策方法、クーリングオフの仕方等を紹介する。サロン等で随時開催。	1	45
14	出前講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域の老人会やサロン等の団体向けに、ケアプラザの専門職が出前講座や出張講話を開催し、早期介入や地域住民とのネットワークを構築する。	5:地域		地域の老人会やサロン等の団体向けに、介護保険、介護予防、権利擁護、消費者被害などの内容を出前講座として開催する。	1	9
15	介護者のつどい	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	協力医のケアプラザ相談時間帯を利用し、理学療法士を迎えて、マッサージの仕方などの講義を受けた後、介護者やCMなどの意見交換会の場を設ける	5:地域		・理学療法士の話と事例を基に情報交換 ・下和泉地域ケアプラザ ・7月	1	16
16	しもづく体操の会	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	介護予防普及啓発事業。歩いて通える身近な場で介護予防活動の取り組みを実施するため、下和泉連合町内会館で開催。	1:高齢者		介護予防自主グループ継続支援 第3月曜日	12	146
17	スマホの使い方相談会		2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	オンライン講座のような形式でも地域住民が参加できるように、スマホの操作やWi-Fiのつながり方、ZOOMの使い方などの相談会を実施する。	1:高齢者		・前回のZOOM活用講座の参加者やボランティアと協力し、相談会を通じて高齢者のスマホ操作能力の向上に寄与する。 ・会場 下和泉地域ケアプラザ ・定期開催(回数未定)	0	0
18	認知症カフェ[ぼかぼかサロン]	平成29年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らし続ける事ができる地域づくり。	5:地域		・近隣施設と連携し「認知症カフェ」として認知症当事者や家族、関心ある地域の方に周知 ・連合町内会館 ・第4水曜日 月1回開催	12	117

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	和泉栄介護者のつどい「鳥の声」	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護者が集まり悩みや情報を交換する場とする。また、会を通して、和泉栄の福祉活動を活性化させる狙いもある。	5:地域		和泉栄地区の介護をしている人やしていた人に対し、ミニ講座やイベント、交流会を開催する。 ・和泉栄自治会館 ・時期検討中	4	50
20	男のかんたんクッキング		2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	男性向けの活動の場として継続支援が必要な団体であるが、コロナ禍で参加者が減少。管理栄養士を講師に招き、体験会を開催する事で、現メンバーの健康意識向上や新たな参加者の募集を目的とする。	5:地域		・管理栄養士による講話と体験会 ・会場 下和泉地域ケアプラザ 調理室 ・第3月曜日+年1回の講座	5	19
21	介護予防講演会		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防普及啓発講座(運動、口腔、栄養各2回)	5:地域		・各分野に高い知識・経験のある講師を設定 ・下和泉地域ケアプラザ ・最低6回開催	6	95
22	介護予防講演会		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防活動支援講座(サロンなどを対象に)	1:高齢者		・専門職や包括職員による講話 ・サロン開催場所(公民館など) ・年3回	3	46
23	権利擁護・介護予防事業共催講座「上手な片づけ方&足腰を守る鍛え方講座」		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	(さわやかクラブとの共催)？で、終活の一環としての家の片付け方と片付けをするにあたっての足腰を守る方法を学ぶ	1:高齢者		・(さわやかクラブと共催)？ ・下和泉地域ケアプラザ ・年1回	1	20
24	グラウンドゴルフ体験会		2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	グラウンドゴルフとの共催で、開かれた体験会を開催する事により、活動の充実や新たな参加者を獲得することを目的とする。	1:高齢者		・グラウンドゴルフ体験会 ・体操講師 ・年1回	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	下和泉・富士見が丘地区施設連絡会	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・近隣施設との顔の見える関係づくり。 ・地域貢献活動についての理解、具体的な取組のイメージ化・きっかけづくり。 ・施設と地域との顔の見える関係づくり。	6:事業者		・近隣施設との協議、情報交換 ・隔月開催	6	83
26	サロン連絡会	平成29年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	サロン活動者同士の連携、サロン活動の継続支援を目的に実施。	5:地域		・認知症予防の講話等 ・会場 下和泉地域ケアプラザ ・年1回	0	0
27	広報紙		7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	プラザの活動紹介、団体紹介、情報発信を目的として発行する。	5:地域		毎月発行予定	12	0
28	ふくしる	令和2年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	・近隣施設と連携して、福祉の仕事の内容と魅力を地域の方に伝え、関心を持ってもらうことで、福祉事業への理解啓発を目指す。 ・近隣住民から、施設のボランティアや職員として活躍する人材を発掘することで、地域と施設の連携を図る。	5:地域		・各施設紹介の事業内容の周知等	11	91